



あたりまえができる子に！

校長 中園 明男

表題は、新一年生説明会で保護者の皆様にお話ししたことです。

入学前に子どもたちにできるようになってもらいたい「あたりまえ」は数多くありますが、次の5点は、全員が身につけてもらいたいと思います。お願いしました。

- 1 あいさつができる子ども
- 2 人の話が聞ける子ども
- 3 友達を思いやる子ども
- 4 命を大事にできる子ども
- 5 素直に謝れる子ども

ご家庭でも、「朝は自分で起きる」「部屋を片付ける」「自分のことは自分でする」など、小学校に入学するまでに「あたりまえ」にできることを、子どもたちに身に付けさせようとしていただいていると思いますが、これらの「あたりまえ」は、牧小っ子は入学後もしっかり実践できているでしょうか。

将来、どんなにAI（人工知能）が進化したとしても、人と人のつながりがなくなることはないと思います。子どもたちが大きくなって、今後どんな職業に就き、どんな生活を送るかわかりませんが、一人ではなく必ず誰かのお世話になると思います。

人と人との関係をスムーズに築ける力は、いつの時代でも大切なものです。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「行ってらっしゃい」「行ってきます」「ただいま」「お帰り」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「どういたしまして」「お先にどうぞ」「ごめんなさい」など、あいさつや素直に謝ること、相手を思いやることなどが、人として「あたりまえ」にできる子どもの育成を目指して、これからもさまざまな教育活動に取り組んでまいります。

今後とも地域の皆様、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

二 月	【生活目標】	時間を大切にしよう	〔2月はノーチャイム月間〕
	【保健目標】	みんな仲良く過ごそう	
	【給食目標】	楽しい食事について考えよう	

感謝の気持ちを新たにしました！

1月22日（月）～26日（金）の期間に実施した「学校給食週間」の取組の中で、本校の寺師栄養教諭と牧園学校給食センターの調理員の方から、給食の献立や食材、調理の工程などについて学びました。話を聞いた子どもたちは、生産者や調理員の方など、給食に携わる人たちに感謝の気持ちを持ち、給食をおいしく味わい、残さず食べる姿が見られました。



鹿児島学習定着度調査の結果報告

1月16日（火）と17日（水）の2日間にわたって、5年生を対象とした「鹿児島学習定着度調査」を実施しました。国語・社会・算数・理科の4教科について行い、結果は以下のとおりとなりました。国語と社会は県・市の平均（速報値）を超えましたが、算数と理科は平均を下回る結果となりました。今後、補充指導に力を注いでまいります。

〔各教科の得点率（平均）〕

(%)

教科	国語	社会	算数	理科
本校	73.2	65.6	73.1	71.0
市	67.7	63.3	73.7	73.3
県	68.4	65.4	74.7	75.5

「善行表彰」を受賞しました！

2月4日（日）に開催された「霧島市道義高揚・豊かな心推進大会」にて、牧園小が善行表彰を受賞しました。令和3年度より、牧園地区自治公民館と連携して実施している「牧小っ子音読放送」の取組が高く評価されての受賞となります。

「牧小っ子音読放送」とは、地域コミュニティ無線を活用した国語科教科書の音読番組のことです。全校児童が輪番で音読録音を行い、日曜日の夕方に放送されます。特に、一人暮らしの高齢者の方から「子どもの声が聞けるのが楽しみ」という声が寄せられるなど、地域と学校とのよい交流の場となっています。今後も、地域の方に子どもたちの元気な声をお届けしてまいります。



「きずな・ふれあい集合学習」を開催！

2月6日（火）に、牧園地区5校（牧園小・三体小・万膳小・中津川小・持松小）による「きずな・ふれあい集合学習」を開催しました。牧園小では、3・4年と5・6年が複式学級ですが、この日は、それぞれの学年に分かれて、他の小学校の子どもたちと一緒に学び合う様子が多く見られました。どの子どもも、生き生きとした表情で学習に前向きに取り組む姿が見られ、嬉しく思いました。1・2年生も、笑顔いっぱいに活動していました。



確かな学力の定着に向けて

本校では、全ての子どもたちが「自ら学び、自ら考え、進んで伝え合う」ようになる姿を目指し、授業を通じた研究・研修を進めています。1月26日（月）に、算数科の研究授業を3・4学年（「分数」）で行い、効果的な複式指導や充実した対話活動の在り方等について研究を深めました。担任による一人一人のきめ細かな声掛け等もあり、どの児童も意欲をもって進んで学習に取り組む様子が多く見られました。

